

人材育成ゆふいん財団ニュース

The Yufuin Human Resource Foundation NEWS

VOL. 59

今号の主な内容

- ゆふいん財団・公益財団法人としての組織運営、事業推進の仕組み～パート3・公益目的事業～・・・1
- 平成21年度収支決算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ゆふいんtopic ゆふいん・文化記録映画祭・・・・3
- ゆふいん元気！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
～新年度！ゆふいんの剣士達・竹友会～
- 掲示板・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

●発行日/2010年5月26日
●第59号
●発行/公益財団法人人材育成ゆふいん財団
●発行人/溝口薫平
●編集責任者/霜野圭一
●編集/事務局企画委員会編集部
住所/湯布院町川上2863
TEL/85-4748 FAX/85-4759
E-mail/zd21yufu@dream.ocn.ne.jp
H.P/http://sky.geocities.jp/zd21yufu/

ゆふいん財団・公益財団法人としての組織運営、事業推進の仕組み～パート3・公益目的事業～

- ゆふいん財団が公益財団法人として行う事業を公益目的事業といいます。公益目的事業とは「学術、技芸、慈善その他の公益に関する事業で、不特定かつ多数の利益の増進に寄与するもの」となっています（公益法人認定法第2条第4号）。
- 経理上は公益目的事業毎に会計区分され、一般の管理費にあたる法人会計は別の会計となります。また、認定に必要な条件として、公益目的事業比率（公益目的事業費が事業費の総額に占める割合）が50%以上でなければいけません。ゆふいん財団は92.7%と非常に高い数値となっています。つまり、公共に寄与する、公益性の高い事業を運営をしていることが証明できています。
- 4月24日に監査会が行われ、2ページ目に掲載した通り、平成21年度収支決算書が取りまとめられました。11月4日に新たに公益財団法人となった関係で、事業年度が途中で分けられ、会計の様式も変更になっていますのでご注意ください。
- もし、質問・ご要望等がございましたら、財団事務局及びお近くの役員までお問い合わせください。

■公益財団法人会計の区分

<公益目的事業1の会計>

市民の0歳から100歳までの
学びを奨励、援助する事業

国際交流事業

ゆふいんの子ども達を、韓国や中国など、文化や言葉の違う国に使節団として派遣し、現地で国際交流を行っていきます。

ふれあい学習事業

様々なテーマ・分野で活動する団体やグループ、個人と連携をしながら、0歳から100歳までの学習、人材育成の機会を提供していきます。

人材育成活性化のための 調査・研究事業

「人材育成」「環境問題」「教育問題」等の各種講演や啓発・普及活動、人材育成活性化の調査・研究を行っていきます。

<公益目的事業2の会計>

市民の実践活動の促進を
援助する事業

市民実践活動への人的支援事業

市民が実践する公益的活動の企画・運営についての相談やアドバイスを行い、適材適所となるボランティアの紹介をしていきます。

市民実践活動への 情報・ネットワーク支援事業

情報誌「人材育成ゆふいん財団ニュース」の発行やホームページを活用し、公益的活動の情報受発信とコミュニティーのネットワークを構築していきます。

市民実践活動への助成・顕彰事業

自主的な公益的活動を企画、または事業を運営する個人・グループ・団体に対して、助成・顕彰を行っていきます。

<公益目的事業の共通会計>

<法人会計>

平成21年度 収支決算書

科目		平成21年4月 ～11月3日まで	平成21年11月4日 ～平成22年 3月31日まで	平成21年度合計	備考	
1. 事業活動収入						
旧財団法人会計	①基本財産運用収入	基本財産利息収入	525,000	0	525,000	
	②会費収入	賛助会会費収入	21,000	16,000	37,000	個人会員8口、団体会員0口
	③事業収入	ふれあい学習事業	0	2,000	2,000	子どもガイド養成・実践講座参加費
		国際交流事業 (旧国際ふれあい交流事業)	520,440	0	520,440	国際交流使節団参加費 個人負担15,000円
	④補助金等収入	財)日本交通公社補助金収入	0	99,049	99,049	観光庁・児童ガイド普及事業補助金
	⑤受取寄付金収入	旧財団寄付金収入	130,000	0	130,000	
		特別寄付金振替額 一般寄付金		1,000,000 100,000	1,000,000 100,000	指定正味財産・特別寄付金振替
⑦雑収入	受取利息収入	633	2,287	2,920		
事業活動収入計 (A)			1,197,073	1,219,336	2,416,409	
2. 事業活動支出						
①事業費支出						
旧財団法人会計	ふれあい学習事業	国際ふれあい交流事業	1,712,892		1,712,892	パスポート申請 他
		ふれあい学習事業	0		0	
		情報ネットワーク事業	174,880		174,880	
	助成・顕彰事業	助成事業	0		0	
		後援・協賛事業	0		0	
		顕彰事業	0		0	
		賛助会事業	0		0	
活性化のための事業		0		0		
公益目的事業1						
公益財団法人会計		国際交流事業		153,992	153,992	
		ふれあい学習事業		179,243	179,243	
		人材育成活性化のための調査・研究事業		4,538	4,538	
公益目的事業2						
公益財団法人会計		市民実践活動への人的支援事業		8,156	8,156	
		市民実践活動への情報ネットワーク事業		330,865	330,865	
		市民実践活動への助成・顕彰事業		4,538	4,538	
公益目的事業共通			152,286	152,286		
法人会計			75,623	75,623		
①計			1,887,772	909,241	2,797,013	
②管理費支出						
旧財団法人会計	役員報酬		0		0	
	給与手当		1,400,000		1,400,000	
	賃金		44,625		44,625	
	旅費交通費		23,572		23,572	
	福利厚生費		192,628		192,628	
	会議・研修費		54,980		54,980	
	通信費		135,641		135,641	
	消耗品費		73,915		73,915	
	賃借料		99,820		99,820	
	雑費		40,441		40,441	
	退職金支払い		150,000		150,000	
公益財団法人会計	役員報酬		0		0	
	給料手当		1,050,000		1,050,000	
	臨時雇賃金		48,750		48,750	税理士への支払い他
	福利厚生費		116,256		116,256	
②計			2,215,622	1,215,006	3,430,628	
①+② 事業活動支出計			4,103,394	2,124,247	6,227,641	
3. 投資活動収支の部						
	基本財産取崩収入		5,000,000	0	5,000,000	
	退職給与引当預金支出		0	0	0	
4. 予備費支出						
	当期支出合計 (B)		4,103,394	2,124,247	6,227,641	
	前期繰越収支差額 (C)		1,124,389	3,218,068	1,124,389	
	当期収支差額 (A-B)		-2,906,321	-904,911	-3,811,232	
次期繰越収支差額 (A-B+C+基本財産取崩収入-退職給与引当預金支出)			3,218,068	2,313,157	2,313,157	

ゆふいんTOPIC

第13回

ゆふいん文化・
記録映画祭

5/29 (土)

5/30 (日)

10:30~12:30 『お父さんとわたしの海
「第3回松川賞」 ~面潜漁に生きる夫婦~』
受賞作品 九州国立博物館映像アーカイブス
『大善寺玉垂宮の鬼夜』

昼食休けい

13:10~15:10 『福祉番長!』
「第3回松川賞」 『前事不忘 後事之師
受賞作品 ~731部隊元少年隊員の証言~』

15:10~16:30 「第3回松川賞」シンポジウム・表彰
夕食休けい

17:10~19:10 『平成 熊あらし異常出没を追う』
『又鬼 マタギ』

19:10~20:30 岩崎 雅典監督
ゲストトーク 内山 節さん
辻 信一さん

20:30~ 花の盛りの懇親会

10:00~11:20 『アリサ・ヒトから人間への記録』

11:20~12:00 秦昭二園長 (上野愛光保育園)
ゲストトーク

昼食休けい

12:40~13:45 『黒い太陽』
科学映画特集 『X線天文学への道』
『電波でさぐる宇宙』

13:45~14:35 池内 了さん
ゲストトーク

休けい

14:45~16:55 『沈黙を破る』

16:55~18:00 土井 敏邦監督
ゲストトーク

夕食休けい

18:40~20:10 『今西錦司自然科学から自然学へ』
(松川八洲雄監督作品)
『生きもの金子兜太の世界』

20:10~ (打ち上げ・お疲れ様会)

前夜祭

5/29(日)

18:30~20:00 『祭りばやし
が聞こえる』

20:00~ 花の顔見世
懇親会

第3回「松川賞」受賞作品

5/29(土)10:30~プログラム

1 お父さんとわたしの海 ~面潜漁に生きる夫婦~

47分/カラー/VIDEO/制作:静岡放送
プロデューサー:報道制作局 土方康太郎

伊豆半島の東海岸、伊東市富戸に昭和の初期に始まった「面潜漁(めんせんりょう)」を受け継ぐ一組の夫婦がいる。稲葉淳夫さん(66歳)、すみ枝さん(60歳)夫婦。ウェットスーツに潜水マスクをつけて潜る妻、船から酸素を送る夫、二人は一本のロープで結ばれている。危険と隣り合わせの面潜漁は二人の息があわないとできない、まさに「夫婦の絆」が命綱だ。過酷な伝統漁を必死で守る夫婦とそれを見守る家族の姿を愛情一杯に描いた。

2 九州国立博物館映像アーカイブス 大善寺玉垂宮の鬼夜

58分/カラー/VIDEO/制作:RKB映画社
製作・著作:福岡県立アジア文化交流センター

毎年1月7日に福岡県久留米市の大善寺玉垂宮(だいぜんじたまたれぐう)で行なわれる「鬼夜(おによ)」。千数百年の歴史をもつこの祭りは大晦日から1月7日まで続く一連の祈願祭の満願の行事で、日本三大火祭りの一つとも称され、国の重要無形民俗文化財にも指定されている。町内の6つの地区で作られる全長13mの巨大な大松明を、総勢四百数十人の禪姿の氏子たちが降りかかる火の粉をものともせず、勇猛果敢に担ぎ上げ境内を廻る様は荘厳華麗。その定められた役割や、手順、しきたりなどを克明に追い、悠久の伝統を紹介しつつ、興奮のつぼと化す祭りの熱気と興奮を見事に映像化した。

5/29(土)13:10~プログラム

3 福祉番長!

47分/カラー/VIDEO/制作:東海テレビ放送
プロデューサー:報道スポーツ局 阿武野勝彦

滋賀県大津市にある事業所型共同(働)作業所長の米澤大さん(31歳)は、元ヤンキー。体重百キロの巨漢。ダブルのダークスーツに、髪はリーゼント。その風貌は「番長」そのものだ。東京の裕福な家庭で生まれたが、両親の離婚をきっかけに非行を繰り返す荒くれ者だったが、偶然の人との出会いをきっかけに一転して更正し、「福祉で日本一になりたい」と障害者8人が働く会社を立ち上げた。知的障害や精神障害などを抱える従業員達を雇っての会社運営は決して楽ではないが、大らかで懐の深い愛情を注ぎ続ける米澤さんと、明るくて個性豊かな社員たちの人間的な魅力が溢れている。愛と優しさに包まれた人間ドキュメンタリー。

4 前事不忘 後事之師 ~731部隊元少年隊員の証言~

59分/カラー/VIDEO/制作:山岡 央

日中戦争から第二次世界大戦にかけて旧満州(現中国)のハルビン市に存在した関東軍防疫給水本部・第731部隊。病原菌を兵器として利用する細菌兵器の開発・研究を任務とし、人間を実験材料として使用し虐殺したこの旧日本陸軍の秘密部隊に、14歳から17歳までの少年が全国から集められた。その一人だった篠塚良雄さんも15歳でこの731部隊に配属され四年間、在籍した。篠塚さんはいま86歳。長く勤めた職場を定年退職したことを契機に、自分の胸につかえていた記憶、自身が中国で行なった加害の事実を語り始めた。自らの意思に関らず従軍したとはいえ、人としてしてはならない事に手を染めてしまった自分の過去を語る篠塚さんの堪え難い思い。「被害者の立場に立ってみなければ真実はわからない」と語る篠塚さんの言葉に、戦争は多くの無為の人々を被害者にすると同時に加害者にもさせてしまう事の意味をずっしりと問いかける。

ゆふいん元気！～新年度の開幕です～

新年度！ゆふいんの剣士達・竹友会



■ゆふいん温泉まつりでの公開稽古。精いっぱい、面を打ち込み、日頃の成果を見せてくれた剣士達。(写真提供：篠原京平さん)



■由布山に深々と礼。礼儀をひとつひとつ重んじる勇姿。(写真提供：篠原京平さん)

新年度が始まりました。学校も新学期を迎え、春の行事も盛んに行われています。今回は小学生、中学生に剣道を指導する竹友会の種木一孝さんに「剣道と子どもたちの成長」についてインタビューをしました（聞き手：事務局・大澤）。

「剣は心なり、心正しからざれば、剣又正しからず、剣を学ばんと欲すれば、まず心より学ぶべし」

剣道は日本古来の武道です。この言葉は、幕末剣士、島田虎之助の言葉です。

礼に始まり礼に終わる。練習前、練習後に神前に礼をします。稽古中や試合の時にも相手に「お願いします。」「有難うございました。」と感謝をこめて礼をします。

剣を学ぶ事は心を学ぶ事につながり、礼儀作法が重要になってきます。竹友会では練習の最後に誓いの言葉を言います。その中の一部ですが、「私は父母に感謝し他の人にも感謝できる人になります。お父さんお母さんありがとうございます。そんな気持ちを忘れずに頑張っています。」剣道だけに限らず、子ども達にはそういった相手を敬う気持ち、礼儀作法を是非覚えてもらいたいです。

「剣道を通して伝えてあげられることがある」

竹友会は40年の歴史があり、私も小学校、中学校と竹友会で練習していました。今は剣道で学んだ事を通じ、子ども達や地域の方々に恩返しできるようにがんばっています。

子どもと真剣に向き合って練習に励んでいます。地域で出会う子ども達を見て、もっと何かに一生懸命になればいいのにと感じる時があります。一生懸命になることは恥ずかしい事ではありません。剣道なら一生懸命に取り組む事の大切さ、人に感謝できる事が伝えられるのに・・・。

2年後には中学校の授業の一環として剣道、柔道、相撲が始まります。武道は経験をしないとわからないスポーツですが、

これからは身近なところで武道を知る機会が増えてくるのではないかと思います。たくさんの人に武道の良さを知ってもらえる事ができればいいなと思います。

「ゆふいん温泉まつりで、精いっぱいの公開稽古」

温泉祭りで、20年ぶりの公開稽古。剣道は地味なスポーツで、人前でする場面が少ない。温泉まつりという晴れの舞台で稽古を披露できて、子どもたちはとても気持ち良かったらうと思います。学校でもなかなか友達に自慢する機会もないので、こういった機会は、子どもにとっては良いことだと思います。

「子どもにはぜひ厳しく、...そしてその分、親も一緒にがんばってほしい。」

竹友会は12月に親子大会を開きます。子どもも小学4年生にもなると、ほとんどの親が子どもに勝てなくなる。親に勝つ子どもの成長がそこで見られます。剣道の技術が成長しただけではなく、自分に勝ち、心が成長した子ども達の姿がその場面で証明されます。最近、子どもを甘やかす親が増えてきたのかな・・・？と感じます。子どもにはぜひ厳しく接してほしい。でも、その分親も自分に厳しくならなくてははいけません。ぜひ、親も子どもと一緒にがんばってほしい。子どもの「やりたい！」という想いを受けとめ、協力して一緒にがんばってほしい。剣道に限らず、子どもと向き合ってほしいと思います。

寄付のご報告

一般寄附金としてご寄付をいただきました。

・匿名を希望 国際交流・ふれあい学習基金へ

20,000円

温かいご厚意ありがとうございました。

公益目的事業の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

先日、九州大学産学連携センターの客員教授・大津留栄佐久氏を招いてミニ講演会が行われ、とても有意義な時間を過ごしました。

夢を持ち、それを叶えるためにどんなことをする必要があるのか。その夢を叶えて自分のやりたい仕事につくことの大切さについて講義をしていただきました。夢とそれまでの道筋（現在の自分

の立ち位置も含む）を自分で確認していくことの大切さをあらためて感じました。

来月から国際交流事業・交流使節団の募集が始まります。夢を叶えるまでの通過点として、ぜひ経験したい！トライしたい！と思っている子どもたちの応募を楽しみに待ちたいと思います。（事務局・大澤）



【編集後記】